

アイス、ヨーグルト、プリン、シャーベット

その名も「まめすぼり」 安来商議所など連携し大豆製品を開発

安来産大豆を使用し、産地振興を。安来商工会議所、安来市、JAやすぎ、安来市商工会などの組織と、地元業者や農家が連携し、安来産大豆を使った製品開発に乗り出した。このうち豆乳アイスやヨーグルトなど四製品はほぼ商品化手前の段階まで開発が進んでおり、今春をめどに全国へ売り出す計画だ。



安来産大豆を使った製品

同 市では昨春、地域雇用の拡大、域外マネー獲得を支援するため、安来商議所、安来市、JAやすぎ、安来市商工会が「産業サポート

ネットやすぎ(SSY)」を設立。新規起業や販路支援を手

助けし、地場産業の振興に努めてきた。

市内には高齢化が進む中山間地を中心に小規模事業者が多く、集落機能維持のためにも地域あげて取り組める地場産業の振興が求められている。

その中で候補にあがったのが昔から地域で生産されてきた安来産大豆。健康食ブームで大豆の効用が見直されてきたこともあり、地元産大豆を使った新商品開発に乗り出した。行政・経済団体の関係者、大豆生産者の茶屋営農組合、

企業間の人材マッチングの支援を行っています

お気軽にご相談ください

信頼と安心

全国ネット



無料

経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人
財団法人 産業雇用安定センター
島根事務所

松江朝日町498-6 松江駅前第一生命ビル8階
TEL0852-27-1151 FAX0852-27-1180
http://www.sangyokoyo.or.jp/

地元豆腐製造業の(有)角久(同市安来町)と食品製造業の(有)わたなべ牧場(同市伯太町)らで「安来産大豆全国展開事業プロジェクトチーム」を組織した。国の「地域資源∞全国展開プロジェクト」にも採択され、マーケティングやモニタリング調査を開始。コンサルティング会社のアドバイスを参考に商品開発や販路調査に取り組んだ。

商品化を目指すのはアイス、ヨーグルト、プリン、シャーベットの四製品。安来節どじょうすくいには必需品の手ぬぐい(豆絞り)をヒントに、すべての製品をユーモラスな出雲弁なまりの「まめすぼり」と命名、全国にアピールするため安来節の土地柄を強調した。完成後は店頭用のほか、業務用など幅広く販売し、農家が込めた愛情たっぷりの味を提供していく。

同プロジェクトチーム事務局の板持真澄安来商議所相談所長は「個々が単独ではできない取り組みを『連携』をキーワードに進めてきた。地場で手掛けた結晶が今春、皆さんの口に届くのを楽しみに待っていてほしい」と商品誕生を心待ちにしている。